

平成28年度

人間教育専攻 現代教育課題総合コース

試験問題表紙

解答上の注意

- 1 表紙1枚、問題用紙2枚、解答用紙1枚あるかを確認のこと。
- 2 問題は3問である。すべて全員解答すること。
- 3 解答用紙の受験番号欄に受験番号を必ず記入すること。
- 4 解答は、解答用紙の枠内に記入すること。
- 5 試験終了後は解答用紙のみを回収するので、解答用紙以外は持ち帰ること。

人間教育専攻 現代教育課題総合コース試験問題

問題用紙全2枚 (その1)

問題1 学校教育活動における道德教育のあり方をめぐってさまざまな意見があります。このことに関連して、以下の3つの問いに答えなさい。なお、解答にあたっては、解答欄の大きさに配慮しなさい。

問1 道德教育を推進することに賛成の立場からその主張をわかりやすくまとめなさい。

問2 道德教育の推進に懐疑的な立場からその主張をわかりやすくまとめなさい。

問3 現代社会には環境教育、国際教育、情報教育など、教科の枠を超えた新たな教育課題が山積していますが、前記の3つの教育課題のうち1つを選び、それと道德教育をからめた「お話」を中学生を相手に30分程度するとした場合、あなたならどのような「お話」を考えますか。そのあらすじをまとめなさい。なお解答にあたっては問1、問2でまとめた道德教育をめぐる議論をふまえたものになるよう留意しなさい。

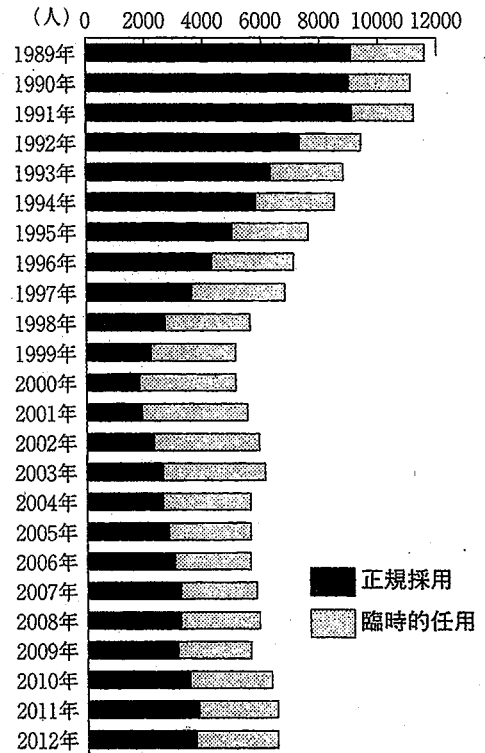
人間教育専攻 現代教育課題総合コース試験問題

問題用紙全2枚 (その2)

問題3 下記のグラフと解説文をよく読み、あとの問1、問2に答えなさい。

グラフからは、2000年を底として正規採用数は微増しているとはいえるものの、<ア>化にともない教員採用数が全体として減少傾向にあること、1990年代後半以降、臨時的任用の割合が急増したことがわかる。<イ>世代の退職にともなって20歳代も増加しつつあるが、彼らを指導する立場にある年齢層の割合が少なく、学校経営や教育研究の充実に大きな課題となっていることは否めない。したがってこれからの若い教員には、みずから学び続ける意欲と努力がますます求められることになる。

注：グラフは文部科学省「国立の教員養成大学・学部（教員養成課程）卒業生の教員就職状況」（平成24年）をもとに作成した。



問1 解説文中のア、イの空欄にあてはまるもっとも適切な用語を下記から選びなさい。

偏差値 ゆとり 団塊 高齢 共通一次 核家族 テレビ 都市 過疎 情報 子育て
経済成長 管理職 高学歴 少子

問2 これからの若い教員にはみずから学び続ける意欲と努力が求められているとありますが、さまざまな教育課題のうち、今後とも学び続ける必要があるだろうと考える課題を一つとりあげ、その課題をとりあげた理由についてあなたなりの考えをまとめなさい。